

個人投資家のためのIRフォーラム

第1回

IR×ECOフォーラム

注目の環境優良企業が集結

開催報告書

2009年8月9日 日

ベルサール神田 開場 10時30分
閉場 17時00分

開催概要

実施内容

告知

パブリシティ

全体アンケート結果

企業セミナー、株式講演等



展示会場



総来場者数 832名



株式会社ツバルの森

TEL 03-6380-9939 FAX 03-6862-9803

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-7-11

E-mail info@tuvalu-forest.com

HP www.tuvalu-forest.jp



ツバルの森
Tuvalu-Forest

開催概要

名 称	第 1 回 IR×ECO フォーラム ～注目の環境優良企業が集結～
テ ー マ	環境をテーマに個人投資家が企業の成長や環境の戦略について理解を深める。
主 催	株式会社ツバルの森
後 援	ツバル国名誉総領事館、日本 IR 協議会、グリーンエネルギー購入推進協議会 グリーン購入ネットワーク
協 力	マネックス証券、ラジオ NIKKEI、日本証券新聞、インベスター・ネットワークス
会 期	2009 年 8 月 9 日（日）開場 10 時 30 分～ 17 時 00 分
会 場	ベルサール神田（東京都千代田区神田美土代町 7 住友不動産神田ビル 2-3 階）
総 来 場 者 数	832 名（入場無料、事前申込制）
プ ロ グ ラ ム	<p>企業セミナー 旭化成、イフジ産業、オムロン、きよくとう、国際石油開発帝石 資生堂、昭和電工、ライオン</p> <p>特別セミナー 株式講演 オフィスセントポーリア代表 馬淵治好 基調講演 日本 IR 協議会事務局長 佐藤淑子 基調講演 ツバル国名誉総領事館 岩谷誠之</p>
展 示	<p>展示ブース 旭化成、昭和電工、ライオン、インベスター・ネットワークス</p> <p>展示パネル アサヒビール、資生堂、ワタミ</p> <p>ライブラリー アコーディア・ゴルフ、オリックス不動産投資法人、サンフロンティア不動産 積水化学工業、日立建機、ビューティ花壇、ファミリーマート フェローテック、三井化学、NEC フィールドディング グレイス、スマートエナジーグループ、トビムシ</p>



実施内容

セミナー（企業セミナー、株式講演、基調講演）

上場企業のトップによる IR セミナーに加えて、アナリストによる株式講演、日本 IR 協議会による ESG（環境・社会・ガバナンス）と企業評価に関する講演など、合計 11 回のセミナーを開催し、多数の個人投資家の方が参加しました。



スケジュール	第1会場（定員 180 名）	第2会場（定員 160 名）
11:00～	オムロン	イフジ産業
12:15～	国際石油開発帝石	きよくとう
13:30～	旭化成	資生堂
14:45～	昭和電工	株式講演
16:00～	ライオン	15:45～ 基調講演①
		16:30～ 基調講演②

展示会場（ブース、パネル、資料ライブラリーコーナー）

展示会場では、再利用・再使用可能な「紙」製の展示ブースコーナー、環境の取り組みなどを紹介した展示パネルコーナー、IR 資料や CSR 報告書などを設置した資料ライブラリーコーナーを配置し、終日非常に賑わい溢れるものとなりました。その他、一般来場者向け休憩コーナーでは、国産有機米・無農薬の雑穀おにぎり専門店が出店しました。



展示会場レイアウト



その他（環境配慮の取り組み、来場者プレゼント）

会場は太陽光発電によるグリーン電力で運営し、フォーラム来場者数に応じて植林を実施するなど、環境に配慮した運営を行いました。また、来場者には主催者より様々なエコグッズをプレゼントしました。

- グリーン電力 2,250kwh（会場の電力、全体アンケート印刷等）
- 植林合計 植林面積 468 m²（本数：75 本、場所：山梨県甲府市）
- 来場者プレゼント ポケダネ、間伐材グッズ、お米でつくった袋



グリーン電力証書の利用を証するマーク
ツバルネイチャーパワー



国内山間部での植林活動を証するマーク
ツバルの森

告知

告知サイトとポスター・チラシなど



告知サイト(公式HP) URL <http://www.tuvalu-forest.jp/ireco/>



A2 ポスター



A4 チラシ



Webバナー

主な告知方法

マネックス証券

ホームページ上での告知
マネックスラウンジでチラシ、ポスターを掲示(銀座ソニービル内)

ラジオ NIKKEI

ホームページでバナー掲載
株情報メルマガ「夕刊 KJ」にフォーラム情報掲載(期間:7月9日~8月5日、計20回)
30秒ラジオスポット CM を放送(期間:7月9日~8月5日、計60回)
「夕焼けマーケット投資って楽しいねっ!」に当社社長が出演(7月24日16時~)
聴取者2,000名にフォーラム情報のハガキを郵送

日本証券新聞

1面に全3段広告を掲載(7月9日、7月13日、7月23日の計3回)
会員800名にフォーラム情報のハガキを郵送



全3段広告

インベスター・ネットワークス

「株なび」会員向けメルマガにフォーラム情報掲載(7月22日、7月29日の計2回)
「株なび」コミュニティサイトにバナー掲載

その他

開催告知のプレスリリースを配信(7月8日)
ツバルの森のポケダネ会員4,000名にメールおよびハガキで告知

パブリシティ

主な報道実績

ツバルの森「IR×ECOフォーラム」開催
「環境がテーマ、個人向けに環境コミュニケーション会社のツバルの森は、個人投資家向けイベント「第1回IR×ECOフォーラム」を8月9日(日)にベルサール神田(東京都千代田区)で開催する。

このフォーラムは、「環境」をテーマにした個人への1人投資家向け広報イベントは日本を初めて、環境に対する先進的な企業として、投資家向けセミナー、展示コーナー、数社の企業が出展、特別講演として、日本100強協会などによる基調講演、アリスアール株式基調講演などで行ってまいります。

7月9日付 日本証券新聞

■第1回IR×ECOフォーラム 会場への取り組みに特色のある企業によるIR(投資家向け広報)セミナー。(株)ツバルの森主催。参加費無料。8月9日午前10時半~午後5時。ベルサール神田(東京都千代田区神田美土代町7)にて。申し込みはウェブサイト(<http://www.tsubaki-forest.jp/>)から。

7月26日付 日経ヴェリタス



ラジオ NIKKEI

8月9日 公式ブログ内で開催レポート掲載

8月10日 「集まれ株仲間」番組内で開催レポートを紹介

責任ある投資「ESG」、重み増す 環境・社会・企業統治が基準、年金基金など参加



昨年から金融危機で、年金基金などの機関投資家は証券化商品で大きな買手を続けた。その一方で投資家の行動も変わりつつあり、投資を通じて社会的課題の解決を促すESG(環境・社会・企業統治)という評価基準に注目が集まっている。資本市場にどのような影響があるのか、日経ヴェリタスの記事に聞いてみよう。



関連機関投資家などが採定した「責任投資原則」

- 私たちは、投資分析と意思決定のプロセスにESGの課題を組み込みます
- 私たちは、社会的な権利行使者になり、株式の所有方針と所有権にESG課題を組み込みます
- 私たちは、投資対象の主体に対してESGの課題について適切な発言を求めます
- 私たちは、資産運用業界において本原則が受け入れられ、実行に移されるように働きかけを行います
- 私たちは、本原則を実行する際の効果を高めるために、協議します
- 私たちは、本原則の実行に関する活動状況や進捗も適時に報告します

金融危機の反省で機運

「そもそもESGとはどのような基準ですか。」
ESGとはEnvironment(環境)、Society(社会)、Governance(企業統治)の頭文字をつなげたものです。SRI(社会的責任投資)や企業の社会的責任(CSR)といった考え方は以前からありましたが、より明確な形で投資に取り込むための基準といえます。

地球温暖化や水不足などの資源の枯渇にどう対応しているのかというE(環境)、人口増による買手や人の移動にどう向き合っているのかというS(社会)、企業の不正をどう防ぐのかというG(企業統治)の観点です。例えば、人権、労働基準、環境、腐敗防止に関する10原則を定めた「国営グローバルコンパクト」は代表的な企業倫理規範のひとつ。日本企業ではコーポレートGRI(2001)や日本郵船(2001)、三井住友海上グループホールディングス(2005)など財団社が署名しています。

ESGが注目されるようになった背景には、金融危機があります。買手のひとつとして、本来は長期投資が基本スタンスのはずの機関投資家も短期の高利回り求めて証券化商品などの投資にのめり込んだことが挙げられます。この反省から、より中長期的な投資行動を目指すために「責任ある投資」をしようという機運が欧米の機関投資

家の間で高まっているのです。
ESGを実践するための設計として2006年4月、国連や大手機関投資家が中心となって責任投資原則(PRI)が採定されました。PRIはESGの要因を投資分析や意思決定のプロセスに組み込むことなどを定めた9項目で、具体的に「長期的視点のESGに配慮した株主提案をする」などの行動指針が盛り込まれています。

運用資産、総額1兆6,000億円超

実際の株式投資ではどのような変化が出てくるのでしょうか。
最近ではESG要因が保険の運用にも影響するという見方が増えています。年金基金などの投資行動に詳しい日興フィナンシャル・インベスチメンツ(東京・中央)の野井博幸氏は「年金の投資期間は5~10年と証券アナリストの分析期間より長く、ESGの観点から企業が持続可能かどうかをみるのが重要」と話しています。

PRIに署名した組織は直近で3割で、運用資産総額は1兆6,000億(約1兆600兆円)を超えています。米国企業の株式時価総額がおよそ13兆円ですから、いかに大きな金額かが分かります。海外の年金基金ではカリフォルニア州職員退職年金基金(カルパース)やノルウェー政府年金基金などがPRIに署名しています。

の株式時価総額の1%を保有していると発表し、その存在がクローズアップされました。同年年金基金は昨年9月、英資産大手リオ・チントの事業が環境面で懸念があると理由から保有株を売却しました。年金マネーが影響力を強めるなかで、ESGの重要性が増しているのです。日本でも、ニッセイアセットマネジメント(東京・千代田)がファンドの設計・運用などで助言する「ESGアドバイザー・コミュニティ」を設けています。

もちろん機関投資家は運用パフォーマンスが大事ですから、ESGだけで株式を売買しているわけではありません。特定の業種をポートフォリオから外すと運用成果を評価するのが難しくなるからです。年金基金などは投資対象企業に対し、ESGにかかわる問題の解決を促すよう働きかけることが多いようです。機関投資家とのコミュニケーション能力の高い企業が評価される流れが強まらうそうです。

ライオンなどに問い合わせ

日本企業の取り組みは海外に比べて遅れているようですが……。
CSRに熱心な企業の中にはESGに配慮した取り組みを始めたところもあります。ライオン(株)では毎年10を越す海外年金基金から問い合わせがあるそうです。同社は洗剤用洗剤トップの原料として、即油の代わりにバイオ油を用いることで環境負荷を低減しています。兼井博幸IR(投資家

向け広報)室長は「当社製品を使う機会が少ない海外投資家に、CSR活動に関する情報を積極的に伝えていきたい」と話します。

厚生堂(株)は8月の株主総会で「美とエコの共生」を掲げ、二酸化炭素(CO₂)を削減しない太陽光発電によるグリーン電力を使用しました。組合の組織通知やアナールレポートなどの出版物もグリーン電力を使って印刷しています。IR部の山崎直実室長は「取組の年金基金からESGの要求が高まっており、できることから始めていく」と説明しています。

外資系を揃えてESG委員会を設けたのはニッセイホールディングス(2008)。取締役会などに対し、環境や企業統治に関して提議を行う方針です。販賣機の消費電力や紙の削減などを顧客企業に助言するリコー(7722)のサービスなども、ESGの取り組みに含まれます。

企業の取り組みに対する個人投資家の関心も着実に高まっています。企業の環境活動を支援する企業公社、ツバリの森(東京・千代田)が8月上旬に開いた個人投資家向け「IR×ECOフォーラム」には、個人を招き入れる来場者がありました。三井物産社長は「環境と投資が相反しないことに個人も気づき始めた」ともしています。決算や経営の内容だけでなく、ESGの観点も含めて、年金基金などの投資対象に選ばれるような企業を探ることが、長期投資には有効でしょう。(興田和志)

8月30日付 日経ヴェリタス

全体アンケート結果

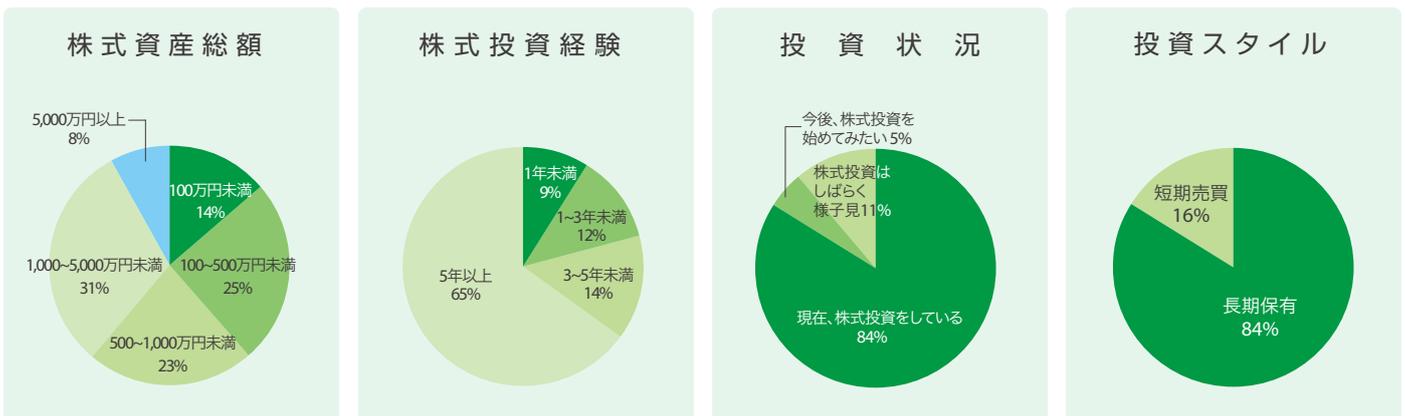
来場者属性

(N=810名)

基本属性（性別、年代、職業）

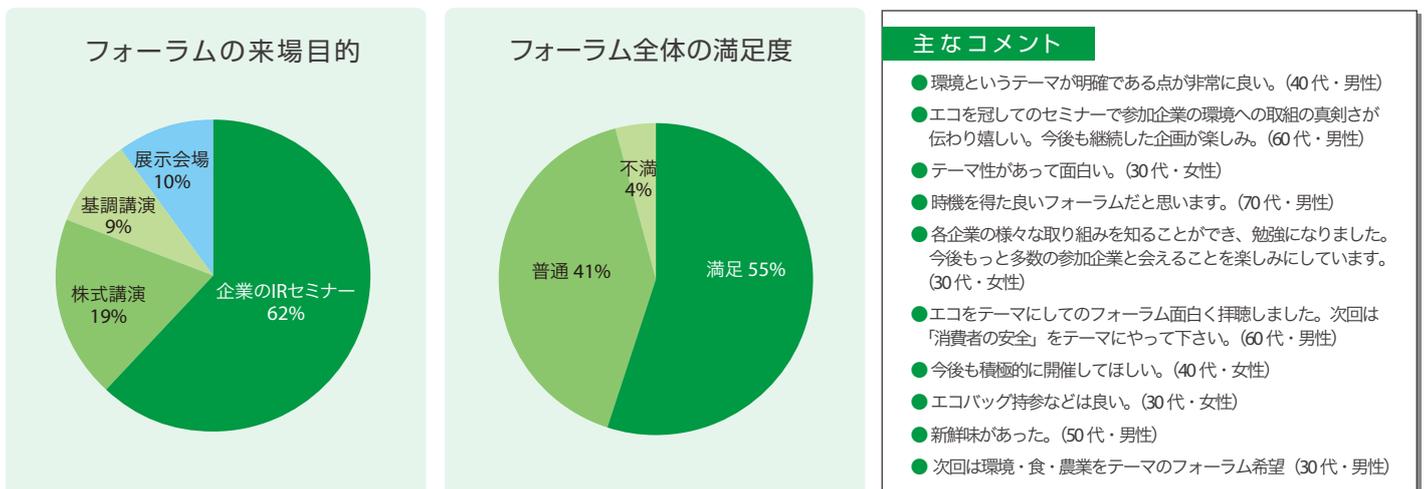


投資属性（株式資産総額、株式投資経験、投資状況、投資スタイル）



フォーラムの来場目的と満足度

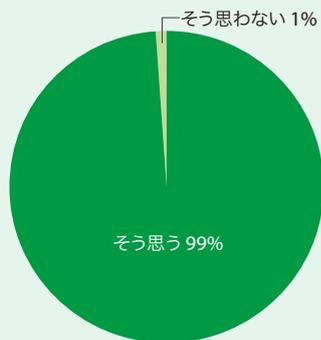
(N=810名)



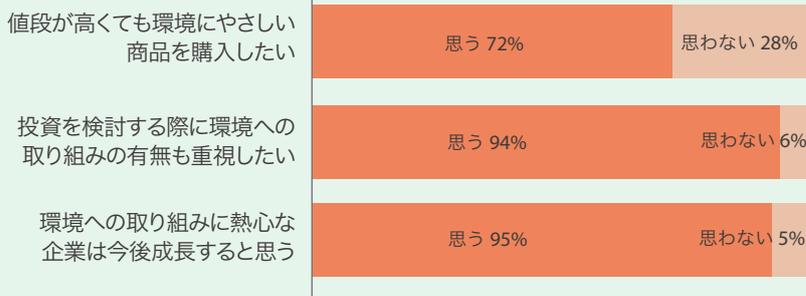
環境に関する考え方や行動、企業の社会的責任に関する考え方

(N=810名)

環境の取り組みに熱心な企業を応援したいと思いますか？



エコに関する考え方や行動について教えてください。



企業が社会的責任を果たすために何を求めますか？（複数回答可）



無回答は回答から除外して計算しています。

クイズラリーとプレゼントについて

クイズに正解してセミナーに3コマ以上参加すると、プレゼントが抽選で当たるクイズラリーを全体アンケートに掲載しました。

- | | |
|-------------------|---|
| <p>抽選プレゼントの内容</p> | <p>① 旭化成 環境に優しい再生セルロース繊維ベンベルグを使用したタオルセット ×3 名様</p> <p>② アサヒビール グリーン電力で製造したアサヒスーパードライ 1 ケース ×2 名様</p> <p>③ イフジ産業 たまご 1 年分 ×3 名様 ※たまご券 3,300 円分</p> <p>④ オムロン デジタル自動血圧計 ×3 名様</p> <p>⑤ きよこう オリジナルクオカード 3,000 円 ×3 名様</p> <p>⑥ 国際石油開発帝石 花とみどりのギフト券 3,000 円 ×2 名様</p> <p>⑦ 昭和電工 蘭から抽出した保湿成分配合の化粧品トライアルセット+活水ポット霧ヶ峰のセット ×3 名様</p> <p>⑧ ライオン トップギフトセット ×3 名様</p> <p>⑨ 株なび 優待グッズ詰め合わせセット ×2 名様</p> |
|-------------------|---|

IR×ECOフォーラム2010

2010年8月末に開催予定(東京)

テーマ

次世代に豊かな環境と安心を提供する企業(仮)

詳しい出展資料はお問合わせください。

TEL:03-6380-9939 E-mail:info@tuvalu-forest.com

